

※自然学校実施 1 か月前までに提出してください。

# 自然学校の実施にあたって

※連合実施の場合は、代表校が取りまとめて作成してください。

(ふりがな) 学校名					学級数 クラス	記入者名
利用する生活棟						

## 1 児童・引率教員・指導補助員等の人数

	男子	女子	合計
在籍児童数			0
引率教員数 (実人数)			0
帯同救急員数			0
指導補助員数			0
その他 (人員を選択)			0

児童の活動班 (班数を選択)						
引率教員数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
予定						

## 2 担当者

日・曜日	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)	6日目( )
担当者名						

※担当者は16:20からの「担当者連絡会」に出席してください。  
※4泊5日で実施の場合は、6日目に斜線を引いてください。

## 3 救急員

帯同救急員 (選択)	
帯同救急員の名前	

※夜間に救急員が帯同しない学校は、別紙様式3により夜間救急員の依頼をしてください。

## 4 指導補助員 (★は本校登録の指導補助員)

指導補助員 (選択)	
指導補助員 の名前	

## 5 技術指導員【南但馬森の案内人含む】 (●は、本校以外の技術指導員)

技術指導員への依頼 (選択)	
依頼した活動	指導員の名前
依頼した活動	指導員の名前
依頼した活動	指導員の名前

## 6 児童の実態及び各学校のねらい等

○ 児童の実態

○ 今年度の自然学校でねらい(テーマ)とすること (児童の実態を踏まえ、記入してください)

○ 「生きる力を育む自然学校」を踏まえ、以下の観点の中で取り組もうと考えていること (いくつでも)

観点	①自然学校と他の教育活動との関連を図る取組の充実	④社会性や自立性等を育むための集団活動の充実
	②事前・事後の学習活動の一層の充実	⑤子どもの成長過程を踏まえた体験活動の充実
	③学校では得難い体験活動プログラムの一層の充実	⑥家庭や地域との一層の連携を図る取組の充実

取組	観点番号	具体的な取組内容
1	(選択)	
2	(選択)	
3	(選択)	

※自然学校実施1か月前までに提出してください。

## 自然学校の実施にあたって

※連合実施の場合は、代表校が取りまとめて作成してください。

(ふりがな) 学校名	ひょうごけん みなみたま 兵庫県立南但馬小学校	学級数	3クラス	記入者名	兵庫 太郎
利用する生活棟	くすのきの館 ひのきの館	とちの館			

同一週の利用校で調整してください。

### 1 児童・引率教員・指導補助員等の人数

	男子	女子	合計
在籍児童数	60	60	120
引率教員数（実人数）	12	10	22
帯同救急員数	0	1	1
指導補助員数	3	3	6
その他 (写真屋、介助員)	1	1	2

児童の活動班	24班					
引率教員数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
予 定	6人	6人	9人	6人	6人	

### 2 担当者

日・曜日	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)	6日目( )
担当者名	兵庫太郎	兵庫太郎	迫間若葉	迫間若葉	山東佑輔	

※担当者は16:20からの「担当者連絡会」に出席してください。

※4泊5日で実施の場合は、6日目に斜線を引いてください。

### 3 救急員

帯同救急員	有	←プルダウンリストから選択してください。
帯同救急員の名前	朝来 花子	

※夜間に救急員が帯同しない学校は、別紙様式3により夜間救急員の依頼をしてください。

### 4 指導補助員（★は本校登録の指導補助員）

指導補助員	有	←プルダウンリストから選択してください。			
指導補助員 の名前	森 和也	柿坪 飛鳥	★小谷 真夏	★大月 翔	早田 美咲
	★越田 潤	三保 智	溝黒 雅紀		

### 5 技術指導員【南但馬森の案内人含む】（●は、本校以外の技術指導員）

技術指導員への依頼	有	←プルダウンリストから選択してください。			
依頼した活動	自然散策	指導員の名前	● 梁瀬 太郎		
依頼した活動	隠れ家づくり	指導員の名前	● 但馬 三郎	● 粟鹿 誠	
依頼した活動	自然物クラフト	指導員の名前	竹田 俊彦		

### 6 児童の実態及び各学校のねらい等

○ 児童の実態	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・穏やかで優しい性格の子が多く、教えられたり練習を積んだりしたことは進んで取り組む。</li> <li>・今まで体験したことのないことには、最後まで粘り強く取り組むことができない子が多い。</li> <li>・生き物に関心を示し、自然を大切にしようとする意識は高い。</li> </ul>	
○ 今年の自然学校でねらい(テーマ)とすること（児童の実態を踏まえ、記入してください）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動を通して、協力することの大切さに気づかせる。</li> <li>・与えられら仕事は、最後まで責任をもって取り組む。</li> <li>・自然に関心をもち、進んで自然に親しむ。</li> </ul>	
○ 「生きる力を育む自然学校」を踏まえ、以下の観点の中で取り組もうと考えていること（いくつでも）	
観 点	①自然学校と他の教育活動との関連を図る取組の充実 ②事前・事後の学習活動の一層の充実 ③学校では得難い体験活動プログラムの一層の充実 ④社会性や自立性等を育むための集団活動の充実 ⑤子どもの成長過程を踏まえた体験活動の充実 ⑥家庭や地域との一層の連携を図る取組の充実
取組	観点番号
1	② 隠れ家づくりの計画とロープワークの練習
2	② 朝来山登山で友達と励まし合いながら登る。
3	⑤ 選択活動の実施